

遠藤康 (Ko ENDO)

教授 (大学院研究科長 2018. 4. 1)

学位: Ph. D. (Sanskrit)

略歴:

駒澤大学人文科学研究科修士課程修了

プネー大学 (インド) 大学院

サンスクリット語プラークリット語専攻 M. Phil. 課程修了

プネー大学 (インド) 大学院

サンスクリット語プラークリット語専攻博士課程修了

専門分野: インド哲学史

研究課題:

ヨーガ派の思想史文献史研究

ナート派を中心とする中世ヨーガ思想研究

【論文】

- ・「転変説と時間論に関する『ヨーガ・バーシュヤ』の『俱舍論』依拠」(『愛知文教大学論叢』第17巻、2014. 11)
- ・「『ゴーラクシャシャタカ (Gorakṣaśataka)』におけるヨーガ支 dhāraṇā」(『東海仏教』第58輯、東海印度学仏教学会、2013. 3)
- ・「ゴーラクシャシャタカ (Gorakṣ aś ataka)」(小本)におけるヨーガ支 pratyāhāra の意義 (『愛知文教大学比較文化研究』10, 2010. 11)
- ・「ヨーガ派における慈・悲・喜・捨の修習と四無量」(『慈悲』日本仏教学会編、平楽路書店、2010. 9, 下記の採録)

【その他】

- ・高大連携出張授業「インド英語を聞いてみよう」(愛知県立瀬戸北総合高等学校 2016. 7)
- ・東海印度学仏教学会理事・幹事
- ・高大連携事業出張授業 「身近にある古代インド ―みんな知ってるインドの昔話―」(高松学園伊那西高等学校 2015. 1)
- ・高大連携事業出張授業 「英語音読トレーニング法」(愛知県立一宮商業高等学校 2014. 7)
- ・「異文化交流のインド史」(かすがい熟年大学〔歴史コース〕公開講座. 文化フォーラム春日井. 2013. 9)

【研究テーマ】

インドの伝統的な宗教実践である瞑想やヨーガについて、その思想や文献の歴史を、ヨーガ派と呼ばれるグループと他の思想宗教グループとの関係を中心として研究してきました。最近では中世に誕生して現在まで存続している修行者集団ナート派に興味を持ち、彼らが伝えた文献の研究も進めています。